

TDSE、プロダクト事業の製品強化

「NetBase」に ChatGPT 機能を用いた『AI Search』搭載

TDSE 株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：東垣直樹、証券コード：7046）は、中期経営計画「MISSION2025」で示したプロダクト事業の製品強化を進めており、このたび当社が取り扱う「NetBase」に ChatGPT 機能を用いた『AI Search』が搭載されたことをお知らせします。

当社は、2023 年度より 3 か年に及ぶ中期経営計画「MISSION2025」を始動させ、プロダクト事業を第 2 の事業の柱として確立させることで、将来の飛躍を目指すこととしています。

「MISSION2025」では、それらプロダクト事業を確立させるための第 1 フェーズとして位置づけ、サービスラインナップの充実を図るものとし、第 2 フェーズとなる次期中計ゴールの 2028 年度には『プロダクト事業 10 億以上を目指す』ことを掲げております。

このたび、プロダクト事業の強化にむけ、SNS 分析ツール「NetBase」に OpenAI 社の ChatGPT 機能を用いた『AI Search』※注が搭載されました。『AI Search』は、一つの検索キーワードを入力するだけで、検索候補となる関連キーワードを複数自動生成する AI 機能を備えており、使えば使うほど精度が向上することから、マーケティング担当者や広報担当者・SNS 運用管理者の業務効率化が進むことが期待されます。今後、「NetBase」の製品全体に ChatGPT 機能を活用することが計画されています。

急成長を遂げる SNS マーケティング市場では、イーロン・マスク氏の X 社（旧 Twitter）買収により、従来ほぼ無償提供されてきた API の有償化への切り替えが進んでいます。市場自体も 1 兆円を超える規模に拡大するなか、安価なソーシャルリスニングツールの淘汰が予想される一方で、各ソーシャルメディアとオフィシャル契約を締結した「NetBase」はそれら影響を受けることなく契約件数を増加させており、これまで以上に拡がることが期待されます。

すでに説明会等でも「MISSION2025」の取組として公表しておりますが、ソーシャルメディアデータ分析の高度化により、マーケティングや広告運用に役立つサービスとして、「レコメンデーション」、「トレンド予兆」、「投稿文自動生成」など競争力強化につなげる企画開発を進めてまいります。また、数年に亘るプロダクト事業の確立を実現させるためにも、「MISSION2025」に挙げた取組に留まることなく、AI 市場の潮流を洞察し、市場関係者との協議も重ねながら、新たな取組にも果敢に取り組み、事業への貢献度も高められるよう全社を挙げて推進してまいります。なお、本件が業績に与える影響は軽微となります。

以上

■ 「NetBase」について

Netbase Quid 社が提供する米国シリコンバレー発の SNS 投稿をリアルタイムで収集・分析できる自然言語解析技術(NLP)を有する SNS 分析ツール。競合サービス分析やキャンペーン反応から消費者の興味・関心度が分析でき、また炎上防止やリスク分析など様々な用途に活かすことができる。X (旧 Twitter)・Facebook・Instagram など各 SNS ベンダーとオフィシャル契約を締結しており、世界トップクラスの実績と性能を保有。

海外実績：海外で高く支持されているブランドで、50 以上の言語に対応。コカ・コーラ、ニューヨークタイムズ、ウォルマートなど多くのグローバル企業が利用。

当社取組：当社設立間もない頃より NetBase の正規販売パートナーであり、日本生命、日本航空、TOTO、読売テレビ、日経CNBC等累計 100 社を超える企業向けサービスを提供。

URL : <https://netbase.tdse.jp/>

■ 会社概要

本社：東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー27 階

設立：2013 年 10 月 17 日

代表取締役社長 東垣 直樹

資本金：8 億 3318 万円

URL : <https://www.tdse.jp/>

■ 本件に関する報道機関や投資家からの問い合わせ先

E-mail : Investors@tdse.jp

24 時間受付 WEB : <https://www.tdse.jp/>

※現在全社テレワーク導入のため、お問い合わせはメールにて受け付けております。